

施設名称

建築年代

築年数 (+は「以上」を表す)



施設の特徴を表す
キャッチコピー

① ② ③ ④ ⑤

① 建物の構造

- : 鉄骨鉄筋コンクリート造
- : 鉄筋コンクリート造
- : 鉄骨造
- : 煉瓦造
- : 木造

② 指定等区分・指定等年

- : 国指定重要文化財
- : 県指定重要文化財
- : 市指定有形文化財
- : 登録有形文化財
- : 認定歴史的建造物

③ 保全手法・改修年

- : 全館保全
- : 用途変更
- : 増築
- : 改修・補強
- : 増築・改修
- : 一部保全・復元
- : 転用

④ 立地

- : 港
- : 丘
- : 都市部

⑤ 施設の特徴を示す数字 (裏面下部に正解を記載)

ファサード特性の
解説・写真

ここに注目!



4種類のレンガ
赤レンガ倉庫では、地中や土台には「焼過」、地上階の表面は「磨き」、室内には「並上」、窓台には「鼻横黒」と、場所によってレンガが使い分けられています。
◀ 複数種のレンガが使用された窓周り

基本情報

〈所在地〉 横浜市中区新港 1-1
 〈建築年代〉 1号倉庫：大正 2 (1913) 年
 2号倉庫：明治 44 (1911) 年
 〈構造形式〉 煉瓦造・3階建て
 〈設計者〉 大蔵省臨時建築部 (部長：妻木頼黄)
 〈指定区分〉 認定歴史的建造物 (平成 14(2002)年 3月)

解説

大蔵省の税関倉庫として、横浜港の貿易・物流の発展に寄与し、平成元 (1989) 年まで使われていました。その後、改修工事を経て、平成 14(2002) 年より、文化・商業施設として活用されています。今では横浜の港を象徴する代表的な建物となっています。



「318」：2号倉庫で使われたレンガ約 318 万個 横浜市中区役所

施設の基本情報

歴史的建造物の
解説 (概要)